

バーチャル・エージェンシー「教育の情報化プロジェクト」において  
意見発表をしていただく際の留意事項

11.2.12

1. 当日ご意見をいただきたい観点は以下の通りです。時間は30分以内でお願いいたします。
  - (1) 今回の意見聴取は、バーチャル・エージェンシーにおいて、今後の教育の情報化に関する施策（中・長期的な計画、当面の短期的な施策の両方を含む）を取りまとめるに際して、都道府県・市町村教育委員会で教育の情報化を直接担当されている方の声を聞かせていただくという趣旨です。
  - (2) したがって、意見発表に当たっては、  
各自治体において教育の情報化にどのように取り組まれているかといった実情、情報化の今後の展望  
教育の情報化を進める上での課題や問題点、国・企業等への要望や期待等について、できるだけ具体的なお意見をお聞かせいただくと幸いです。
  - (3) 現在のところ、具体的な内容としては別紙中の「今後の取組方針」の各項目のようなことを検討しておりますが、特に以下の点に関するご意見を中心にお願いしたいと考えております。もちろん、これ以外の点について触れていただいても結構です。

民間企業等の協力を得て学校に多数の人材を登用して情報化を支援

【考えられる観点】

- ・ 教育の情報化のための人材をどう活用していくか。現在SE派遣事業を交付税措置しているが、情報化推進コーディネータ・ヘルプデスクなどの必要性も指摘されており、これらの役割分担等をどう考えていくべきか。
- ・ さらに、上記の役割分担に応じて、どのような人材を必要とするのか（単なる技術者か、教育経験者・教員免許保有者等かなど）。また、配置先としては教育委員会・教育事務所・学校等が考えられるが、どの程度の人数を必要とするのか。配置の形態はどうか（退職者の活用、企業からの出向等）。
- ・ 地域による支援としては、ネットデイ等のほかに何が考えられるのか。
- ・ このほか、学校への支援策として、どのようなことが考えられるか。

教員がコンピュータを活用して指導できる体制づくり

【考えられる観点】

- ・ 現在、教員研修の充実や教員1人1台のパソコン整備等を検討しているが、他に何か考えられるか。

## 教育用コンテンツ充実及び教育方法の開発促進

### 【考えられる観点】

- ・ アメリカではシンククエスト等の様々なプロジェクトがあるが、日本ではどのようなコンテンツをどう充実させていくべきか。

### 3. その他

- (1) 配付資料等を用意される場合は、誠に恐縮ですが、事前にEメール又はFAXで当課に送付していただくとともに、当日20部をご用意ください。
- (2) 正式な依頼文書等については、別途送付いたします。

担当；文部省生涯学習局学習情報課：池田

TEL / 03 - 3501 - 2677

FAX / 03 - 3581 - 9148

E-mail / ikeda-ik@monbu.go.jp